

社会福祉施設 避難確保計画

【施設名：ボーダレスアートスペースHAPつるみ】

2024 年 3 月作成

様式 1

1 計画の目的

2 施設の概要

利用形態	通所	入所
	○	

建物の階数	1	階
-------	---	---

※利用形態を記載

※入所には、長期・短期が分かるように記載

施設の人数

	平 日						休 日					
	利用者			施設職員			利用者			施設職員		
昼 間	約	10	名	約	6	名	約	—	名	約	—	名
夜 間	約		名	約		名	約		名	約		名

※利用者数は最大の利用者数を記載(おおよその利用者数でもよい)

※昼間は通所部門と入所部門の合計人数を記載

※夜間は入所部門の人数を記載

3 施設が有する災害リスク

施設において想定されている災害の種別や災害の大きさ等を記載しましょう。

水害(洪水、雨水出水、高潮、津波)

洪水浸水想定区域 (洪水)	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし	<input type="checkbox"/> 該当	最大浸水深	
		<input type="checkbox"/>	浸水継続時間	
		<input type="checkbox"/>	家屋倒壊等氾濫想定区域の該当の有無	
		<input type="checkbox"/> 該当	<input type="checkbox"/> 該当なし	
雨水出水浸水想定区域 (雨水出水)	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし	<input type="checkbox"/> 該当	最大浸水深	
		<input type="checkbox"/>	浸水継続時間	
高潮浸水想定区域 (高潮)	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし	<input type="checkbox"/> 該当	最大浸水深	
		<input type="checkbox"/>	浸水継続時間	
津波災害警戒区域 (津波)	<input type="checkbox"/> 該当なし	<input checked="" type="checkbox"/> 該当	基準水位	1.7m
		<input type="checkbox"/>	最大浸水深	1.68m
		<input type="checkbox"/>	津波到達時間	30分～4時間

土砂災害

土砂災害特別警戒区域 土砂災害警戒区域	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし	<input type="checkbox"/> 該当(以下の該当する分類に <input checked="" type="checkbox"/>)	
		<input type="checkbox"/> がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)	
		<input type="checkbox"/> 土石流	
		<input type="checkbox"/> 地すべり(地滑り)	

● 計画の報告

計画を作成又は必要に応じて見直し・修正をしたときは、遅滞なく、当該計画を市町村長へ報告する。

● 計画の見直し

避難訓練の結果や社会情勢の変化に伴い、定期的に見直すものとする。

津波到達時間が短い場合

様式 2

4 防災体制

【防災体制確立時の組織構成と役割分担】

レベル	統括指揮者 ※全体を指揮			情報連絡班 ※情報収集や伝達			避難誘導班 ※利用者の避難支援			装備品等準備班 ※設備や装備品等の点検・準備		
	責任者	高橋		責任者	青山・徳永		責任者	飛谷・田頭		責任者	武藤	
警戒レベル3 ↓ 警戒体制	人数	1	名	人数	2	名	人数	3	名	人数	2	名
	・状況把握、指揮			・気象情報、水位情報、避難情報等の収集			・避難誘導開始			・要配慮者等の装備品の装着		
	・施設職員等召集			・施設職員や避難支援協力者へ連絡						・移動用車両の確保(送迎員担当)		
	・避難開始判断			・利用者家族等への連絡						・避難先への持ち出し品等を運搬		
	・市町村等への連絡											
警戒レベル4 ↓ 非常体制	人数	1	名	人数	2	名	人数	3	名	人数	2	名
	・状況把握、指揮			・気象情報、水位情報、避難情報等の収集			・避難完了の確認			・避難先での持ち出し品等の管理		
	・避難先での利用者支援の監督						・避難先での利用者支援					
	・(緊急安全確保の判断)						・(緊急安全確保の誘導)					

防災体制一覧表 ⇒ 様式 12

警戒レベル3
↓
警戒体制

- ・地震に伴う強い揺れ又は長時間ゆっくりとした揺れを感じた場合
- ・津波注意報、津波警報、大津波警報が発表された場合
- ・避難指示が発令された場合

津波は 20cm から 30cm 程度の高さであっても、急で強い流れが生じるため、これに巻き込まれて流されれば、命を脅かされる可能性があることから、大津波警報・津波警報・津波注意報のいずれが発表された場合であっても、危険な地域からの一刻も早い避難行動をとる必要がある。

また、震源が沿岸に近い場合は地震発生から津波来襲までの時間が短いことから、少しでも早く避難する必要があり、津波災害警戒区域等に居るときに強い揺れ(震度 4 程度以上)又は長時間ゆっくりとした揺れを感じた者は、気象庁の津波警報等の発表や市町村からの避難指示の発令を待たずに、自主的かつ速やかに避難行動をとることが必要である。

津波到達時間が長い場合

様式2

4 防災体制

【防災体制確立時の組織構成と役割分担】

レベル	統括指揮者 ※全体を指揮			情報連絡班 ※情報収集や伝達			避難誘導班 ※利用者の避難支援			装備品等準備班 ※設備や装備品等の点検・準備					
	責任者	高橋	人数	1	名	責任者	徳永	人数	2	名	責任者	武藤	人数	2	名
警戒レベル2 ↓ 注意体制	・状況把握、指揮			・気象情報、水位情報、避難情報、避難先情報等の収集			・避難誘導体制の確認			・避難に必要な設備や装備品、備蓄品、避難先への持ち出し品等を点検し準備					
	・施設職員等召集			・施設職員や避難支援協力者へ連絡			・避難ルートの確認			・移動用車両の手配(送迎員担当)					
	・(避難開始判断)						・(避難誘導開始)								
警戒レベル3 ↓ 警戒体制	人数	1	名	人数	1	名	人数	2	名	人数	2	名	人数	2	名
	・状況把握、指揮			・気象情報、水位情報、避難情報等の収集			・避難誘導開始			・要配慮者等の装備品の装着					
	・避難開始判断			・利用者家族等への連絡						・移動用車両の確保(送迎員担当)					
警戒レベル4 ↓ 非常体制				・市町村等への連絡						・避難先への持ち出し品等を運搬					
	人数	1	名	人数	1	名	人数	3	名	人数	1	名	人数	1	名
	・状況把握、指揮			・市町村等への連絡			・避難完了の確認			・避難先での持ち出し品等の管理					
・避難先での利用者支援の監督						・避難先での利用者支援									
・(緊急安全確保の判断)						・(緊急安全確保の誘導)									

防災体制一覧表 ⇒ 様式12

警戒レベル2 ↓ 注意体制	・「遠地地震に関する情報」の中で津波の到達予想時刻等の情報が発表された場合
警戒レベル3 ↓ 警戒体制	・高齢者等避難が発令された場合 ・津波注意報、津波警報、大津波警報が発表された場合 ・避難指示が発令された場合

我が国から遠く離れた場所で発生した地震に伴う津波のように到達までに相当の時間があるものについては、気象庁が、津波警報等が発表される前から津波の到達予想時刻等の情報を「遠地地震に関する情報」の中で発表する場合がある。

市町村は、この「遠地地震に関する情報」の後に津波警報等が発表される可能性があることを認識し、津波警報等の発表前であっても、必要に応じて高齢者等避難の発令を検討するものとなっている。

施設利用者の人数や特性等から、施設利用者の避難完了に多くの時間を要する場合には、気象庁の津波警報等の発表や市町村からの避難指示の発令を待たずに、自主的かつ速やかに避難行動をとることが必要である。

5 情報収集・伝達

(1) 情報収集 担当:高橋

収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。

様式 3

収集すべき情報		入手先
共 通 の 情 報	【防災気象情報(気象庁)】 ・早期注意情報(警報級の可能性)	・テレビ、ラジオ、気象庁HP ・防災アプリ、市町村のメール通知サービス等
	【避難情報(市町村)】 ・警戒レベル3 高齢者等避難 ・警戒レベル4 避難指示 ・警戒レベル5 緊急安全確保	・テレビ、ラジオ ・市町村のHP ・市町村のメール通知サービス ・緊急速報メール 等
	【避難所の開設状況(市町村)】 指定緊急避難場所や 福祉避難場所の開設状況	・テレビ、ラジオ ・市町村のHP ・市町村へ電話問い合わせ 等
	道路の通行止め情報	・日本道路交通情報センターのHP 等
	津 波	・津波注意報、津波警報、大津波警報
		・テレビ、ラジオ、気象庁HP ・防災アプリ ・市町村のメール通知サービス 等

各職員のスマホを活用

(2) 情報伝達

口頭もしくはグループメッセンジャーで伝達

警戒レベル	対象情報	主な入手先	伝達内容	情報伝達の流れ	
				発信者	情報伝達先
警戒レベル1	早期注意情報	インターネット (気象庁HP)	大雨の警報級の可能性「高」が発表されました。災害への心構えを高める段階です。	情報連絡班	施設職員
	事前休業のお知らせ	統括指揮者の判断を確認	○○日は、大雨が予想されていますので、施設を休業することになりました。	情報連絡班	施設利用者の家族
警戒レベル2	職員への招集連絡	統括指揮者の判断を確認	大雨注意報が発表されたので施設に参集してください。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	洪水注意報	インターネット (気象庁HP)	洪水注意報が発表されました。 注意体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	氾濫注意情報	インターネット (川の防災情報)	○○川に氾濫注意情報が発表されました。 注意体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	大雨注意報	インターネット (気象庁HP)	大雨注意報が発表されました。 注意体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
警戒レベル3	高齢者等避難	市役所からの電話	高齢者等避難が発令されました。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	避難先の開設情報	市役所へ電話	避難先の○○は開設されています。	情報連絡班	避難誘導班
	避難開始の連絡	避難誘導班に確認	○○では、○○時○○分に避難を開始しました。	情報連絡班	市役所の担当部署
	洪水警報	インターネット (気象庁HP)	洪水警報が発表されました。 警戒体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	氾濫警戒情報	インターネット (川の防災情報)	○○川に氾濫警戒情報が発表されました。 警戒体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
警戒レベル4	大雨警報	インターネット (気象庁HP)	大雨警報が発表されました。 警戒体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	避難指示	市役所からの電話	避難指示が発令されました。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	避難完了の連絡	避難誘導班に確認	○○では、○○時○○分に避難を完了しました。	情報連絡班	市役所の担当部署
	氾濫危険情報	インターネット (川の防災情報)	○○川に氾濫危険情報が発表されました。 非常体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	土砂災害警戒情報	インターネット (気象庁HP)	土砂災害警戒情報が発表されました。 非常体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者

利用者緊急連絡先一覧表 ⇒ 様式8

緊急連絡網 ⇒ 様式9

外部機関等の緊急連絡先一覧表 ⇒ 様式10

6 避難誘導

(1) 避難先、移動距離及び避難方法

様式 4

洪水	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同種類似施設		m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	台		
指定緊急避難場所		m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	台		
近隣の安全な場所		m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	台		
屋内安全確保		m					

雨水出水	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同種類似施設		m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	台		
指定緊急避難場所		m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	台		
近隣の安全な場所		m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	台		
屋内安全確保		m					

高潮	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同種類似施設		m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	台		
指定緊急避難場所		m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	台		
近隣の安全な場所		m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	台		
屋内安全確保		m					

津波	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同種類似施設	フジグラン広島	170 m	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		5分 強い地震発生 津波注意報など
指定緊急避難場所		m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	台		
近隣の安全な場所		m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	台		

土砂災害	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同種類似施設		m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	台		
指定緊急避難場所		m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	台		
近隣の安全な場所		m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	台		

以下に該当するか検討の上、屋内安全確保を選択するかどうかを慎重に判断する

※家屋倒壊等氾濫想定区域、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域、

津波による浸水のおそれがある区域に存していないこと

※浸水しない居室があること

※一定期間浸水することにより生じる可能性がある支障を許容できること

・緊急安全確保

急激に災害が切迫することにより、避難確保計画に定めた場所への避難を安全にできないような、

過酷な事象に遭遇した場合は「(当デイが入る)鶴見町マンション上階」に緊急的に移動する

(2) 避難経路

避難先までの避難経路は、【施設周辺の避難地図】【施設建物内の避難経路図】のとおりとする。

避難先は、避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じ見直しするものとする。

【施設周辺の避難地図】⇒別紙1、【施設建物内の避難経路図】⇒別紙2

対応別避難誘導一覧表 ⇒ 様式11

7 避難に必要な設備の整備

様式 5

避難誘導の際に使用する設備等については、下表に示すとおりである。これらの設備等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

避難に必要な設備等

分類	設備等	数量	設置場所、保存場所
通常の設備	エレベーター	0	
	上下階の移動のできる大型スロープの設置	0	
	車椅子	0	
	その他()		
緊急時の設備	停電対策としての非常用電源の設置	0	
	土のう	0	
	止水板	0	
	階段昇降機の設置	0	
	その他()		

8 避難に必要な装備品や備蓄品の整備

避難に必要な装備品や備蓄品等の例については、下表に示すとおりである。これらの装備品や備蓄品等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

避難に必要な装備品や備蓄品等

分類	装備品や備蓄品等	数量	設置場所、保存場所
情報収集・伝達	ラジオ	2	白い棚の下
	インターネットに接続したパソコンやタブレット端末	7	事務所3／大部屋4
	電話やファックス	1	事務所
	携帯電話やスマートフォン	6	各職員の所有物
	電池や非常用電源	1	白い棚の下
避難誘導	名簿(施設利用者)	3	事務所
	案内旗	0	
	ビブス	0	
	懐中電灯	1	避難リュックの中
	ハンドマイク	0	
	雨具	0	
	ライフジャケットやヘルメット	0	
	避難ルートを示したマップ	0	
	救急用品	1	白い棚の下
	移動用の車両	1	駐車場
避難先	水や食糧	1	避難リュックの中
	衛生用品	1	避難リュックの中
	電池や携帯充電器	0	
その他	毛布	2	大部屋
	避難リュック	1	白い棚の上

既存の消防計画等がある場合は、それに追加してもよい。

9 防災教育及び訓練の実施に関する事項

様式 6

防災教育及び訓練の年間計画

避難確保計画の作成＝防災体制の確立

実施予定時期

避難確保計画の周知

- 施設職員、施設利用者や施設利用者の家族、避難支援協力者に電子データなどで避難確保計画を共有し、周知する

3月頃
新規入職者・施設利用者の家族はその都度

施設職員、避難支援協力者への防災教育

- 水害・土砂災害の危険性や避難場所の確認
- 過去の被災経験や災害に対する知恵の伝承 等

3月頃
新規入職者・施設利用者の家族はその都度

利用者、施設利用者の家族への防災教育

- 水害・土砂災害の危険性や避難場所の確認
- 緊急時の対応等に関する保護者・家族等への説明 等

新規入職者・施設利用者の家族はその都度

通所部門

情報収集、情報伝達訓練

- 施設職員の緊急連絡網の試行
- 保護者・家族等への情報伝達手段(メール・電話等)の確認、情報伝達の試行 等

4月頃

立退き避難訓練

- 避難経路ごとに避難方法(車、徒歩など)を確認
- 施設から避難先までの避難に要する時間の計測 等

4月頃

入所部門

情報収集、情報伝達訓練

- 施設職員の緊急連絡網の試行
- 保護者・家族等への情報伝達手段(メール・電話等)の確認、情報伝達の試行 等

屋内安全確保訓練

- 避難方法の確認
- 避難に要する時間の計測 等

避難訓練結果の振り返り

- 訓練終了後に参加者全員で訓練を振り返る
- 訓練計画時に決めた訓練の目的・目標について達成度を確認し、その後、個別の反省点や行動等について意見交換する

5月頃

市町村への避難訓練結果の報告

- 手引き第9章に掲載している避難訓練結果の報告様式に基づき、○○市に訓練結果を報告する

5月頃

避難確保計画の見直し

- 振り返りであげられた意見や問題点を踏まえて、避難確保計画を見直す

5月頃

既存の名簿等がある場合は、それを用いてもよい。

様式10

13 外部機関等の緊急連絡先一覧表

	連絡先	備考
広島市(防災担当)	082-504-2819	
広島市(福祉担当)	082-504-2148	
広島市南消防署	082-261-5181	
広島県南警察署	082-255-0110	
避難誘導等の支援者 (HAPシンつるみ)	082-236-6482	
浜脇整形外科	082-240-1166	
HAP-lab (ハシモト)	082-554-0098	
竹屋小学校	082-241-9138	

既に防災体制を確立している場合は、それを活用してもよい。

15 防災体制一覧表

様式12

統括指揮者（近藤倫生）（代行者高橋百合子）

情報連絡班	役割	担当者名
	責任者	高橋
	・気象情報等収集	高橋・徳永
	・施設職員への情報伝達	青山
	・気象情報、水位情報、避難情報、避難先情報等の収集	大井
	・施設職員や避難支援協力者へ連絡	徳永
	・気象情報、水位情報、避難情報等の収集	青山
	・利用者家族等への連絡	高橋・徳永
	・市町村等への連絡	高橋
		人数(4)名

避難誘導班	役割	担当者名
	責任者	飛谷・田頭
	・避難誘導体制の確認	飛谷
	・避難ルートの確認	坂本
	・避難誘導開始	田頭・遠山
	・避難完了の確認	坂本・飛谷
	・避難先での利用者支援	飛谷・田頭・瀬川
	・(緊急安全確保の誘導)	田頭・遠山
		人数(5)名

装備品等準備班	役割	担当者名
	責任者	武藤
	・避難に必要な設備や装備品、備蓄品、避難先への持ち出し品等を点検し準備	石河・中越
	・移動用車両の手配	武藤
	・要配慮者等の装備品の装着	石河・木谷
	・移動用車両の確保	木谷
	・避難先への持ち出し品等を運搬	木谷・中越
	・避難先での持ち出し品等の管理	石河・武藤
		人数(4)名

別紙 1

【避難先までの避難経路図】

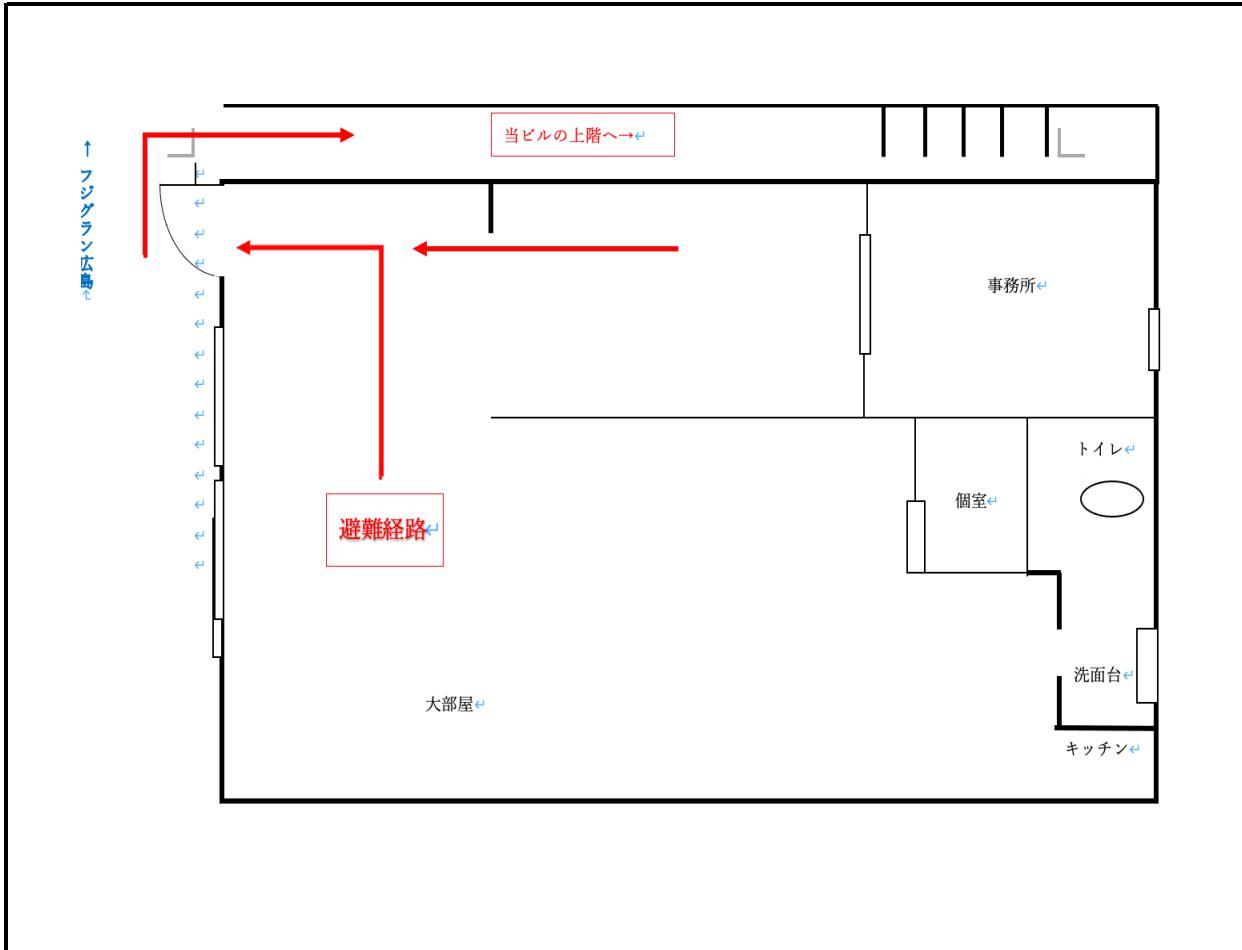
	立退き避難					
	避難先1	避難に要する時間	避難先2	避難に要する時間	避難先3	避難に要する時間
洪水						
雨水出水						
高潮						
津波	フジグラン広島	7分	竹屋小学校	5分		
土砂災害						



※施設の位置、避難先の位置、避難方法(徒歩、自動車等)、避難に要する時間等を記載してください。
避難先は、避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じ見直しするものとする。

【施設建物内の避難経路図】

	屋内安全確保	避難に要する時間
洪水	本施のビル上階	2分
雨水出水		
高潮		



※施設建物内の避難経路図を記載してください。

避難先は、避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じ見直しするものとする。

別紙3

ご自身の施設における避難に必要な行動を時系列順に整理したタイムラインを確認しましょう。

施設型タイムラインの設定	統括指揮者 ※全体を指揮	情報連絡班 ※情報収集や伝達	避難誘導班 ※利用者の避難支援	装備品等準備班 ※設備や装備品等の点検・準備	
防災気象情報、避難情報					
■早期注意情報 (警報級の可能性)	警戒レベル1				
■大雨注意報 ■洪水注意報 ■高潮注意報	警戒レベル2	<ul style="list-style-type: none"> ・状況把握、指揮 ・体制確立の判断 ・事前休業の判断 	<ul style="list-style-type: none"> ・気象情報等収集 ・施設職員への情報伝達 	<ul style="list-style-type: none"> ・(避難誘導体制の確認) ・(避難ルートの確認) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(避難に必要な設備や装備品、備蓄品、避難先への持ち出し品等を点検し準備)
■高齢者等避難 ■洪水警報 ■氾濫警戒情報 ■高潮注意報 ■大雨警報(土砂災害)	警戒レベル3	<ul style="list-style-type: none"> ・状況把握、指揮 ・施設職員等召集 	<ul style="list-style-type: none"> ・気象情報、水位情報、避難情報、避難先情報等の収集 ・(施設職員やつるみ、ハシモトへ協力の連絡) 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難誘導体制の確認 ・避難ルートの確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難に必要な設備や装備品、備蓄品、避難先への持ち出し品等を点検し準備 ・(移動用車両の手配)
■避難指示 ■氾濫危険情報 ■高潮警報 ■高潮特別警報 ■土砂災害警戒情報	警戒レベル4	<ul style="list-style-type: none"> ・状況把握、指揮 ・避難先での利用者支援の監督 	<ul style="list-style-type: none"> ・気象情報、水位情報、避難情報等の収集 ・利用者家族等への連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ・(避難誘導開始) 	<ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者等の装備品の装着 ・(移動用車両の確保)
■緊急安全確保 ■大雨特別警報 ■氾濫発生情報	警戒レベル5	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急安全確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村等への連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難完了の確認 ・避難先での利用者支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難先での持ち出し品等の管理